平成29年度　自己評価

奈良佐保短期大学附属生駒幼稚園

子ども時代を子どもらしく　のびやかに　のびやかに

教育目標　○生き生きとした　たくましい子ども
○思いやりのある　あたたかい心の子ども
○ものごとを工夫し　考えてやりぬこうとする子ども

努力を要する　1　→　7　出来ている

分野	項目	評価 1	2	3	4	5	6	7	備考
保育内容充実度	①教育指導要領に示された目標等を含んだ指導計画にのっとっていたか				■				
	②幼児の興味を大切にした環境を整えられたか				■				
	③発達の姿と一致していたか					■			
	④各クラスの実態に応じて工夫できたか					■			
	⑤一人一人の発達に応じた指導、目標は挙げられたか						■		
	⑥振り返りの環境はできていたか					■			
	⑦到達の姿を全員できちんと見つめられたか					■			
環境充実度	①各保育室の整理整頓はできていたか					■			
	②各保育室にそれぞれの工夫はみられたか					■			
	③園内の清潔度は高かったか					■			
	④使った用具類の始末はきちんとできていたか					■			
	⑥全体の小さな生き物に対する姿勢は前向きであったか					■			
	⑦環境について工夫やアイディア提案されたか				■				
家庭・地域との連携充実度	①園から家庭への毎日の電話連絡は偏りなくできたか				■				
	②保護者に対して誠意ある対応ができたか						■		
	③子どもたちのために地域の方々に対して具体的な協力を頼めたか					■			
	④地域の方々に感謝の思いを持つことはできたか						■		
	⑤またその思いを何らかの示せたか						■		
研修充実度	①研修の場を設けられたか					■			
	②研修のための園外研修の機会はあったか					■			
	③学んだことの　記録はできているか				■				
安全管理度	①遊具の点検は定期的にできていたか				■				
	②病気や怪我が発生した場合の基本的なマニュアルは把握できていたか				■				
	③記録はきちんとできているか					■			
	④感染疾病発生の場合の処置は把握できているか				■				
園務分掌遂行度	①各自の担当分は計画・提案・実行・反省・記録はきちんとできたか						■		
	②来年に向けて整理はできているか				■				
	③職員間に協力体制はできていたか						■		
	④活発な議論ができた会議であったか					■			

【自己評価が昨年実施の結果と比べ、低くなっている理由】

昨年度（平成28年度）は、自己評価の初年度にあたり、各職員が改めて自らの幼稚園を見直す機会となりました。
それぞれの分野について、出来ていると評価しましたが、次の年度には意識して活動を振り返ると、細かなところに気づき始めました。
全職員が姿勢を正し、真摯に現状を受け止め、課題を浮き彫りにさせながら、共通理解のもとにさらなる改善に向けていきたいと、それぞれの分野について評価をいたしました。その結果、前年度より不十分だと思われる部分が出てまいりました。
平成30年度は、気づいたさまざまなところに心を止め、子ども達や、保護者、地域の為に、環境を整え、地域の方々とも交流を深めながら、直接的な保育内容・教育内容に力を注ぎ評価の向上に向けて努力してまいります。どうぞ、来年度の自己評価にご期待をいただきますよう、よろしく今後を見守ってください。